

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-179	12-067	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>The interpretability of family history reports of alcoholism in general community samples: findings in a midwestern U.S. twin birth cohort.</p> <p>米国社会における家族の飲酒歴に対する解釈：米国中西部の双子コホート研究における知見</p>		
執筆者		
Waldron M, Madden PA, Nelson EC, Knopik VS, Glowinski AL, Grant JD, Lynskey MT, Jacob T, Sher KJ, Bucholz KK, Heath AC.		
掲載誌		
Alcohol Clin Exp Res. 2012 Jun;36(6):1091-8		
キーワード		
家族における飲酒歴、米国、白人、黒人		
要 旨		
<p>目的： アルコール研究において家族の飲酒歴で被験者を分類する手法が長い伝統になっている。しかしながら、米国社会における家族の飲酒歴に対する解釈は確立されていないため、これらの関連について検証する。</p> <p>方法： 双子で共に女性である 3,787 名(年齢中央値：22 歳)とその実の親 2,928 名を対象に電話調査を行った。両親の自己申告と、血縁にない親が回答した両親に対する評価、双子が両親に対して回答した狭義(アルコールに関する問題)の評価と広義(アルコールに関する問題もしくは過剰なアルコール消費)の評価との間の一致性(agreement)について分析を行った。</p> <p>結果： 白人家族では両親のアルコールに関する問題について、①双子の評価と双子の相手(co-twin)の評価の間、および②双子の評価と血縁にない親が回答した両親に対する評価の間において、2つの正規分布変数として計算した場合の相関が高くなることが確認された。また③双子による評価と母親の自己申告との間、および④双子による評価と父親の自己申告との間で高い相関が確認された。一方で、黒人家族では、白人家族よりも評価者間の合意は実質的に低かった。黒人家族では妊娠中のアルコールの問題について、父親が示した評価に対して双子の評価や母親の自己申告が合致することは無く、双子の相手(co-twin)の一致性(agreement)と 母親-双子間の一致性(agreement)はともに減少した。白人家族と黒人家族の間の違いは、①父親との同居年数もしくは②母親の学歴の違いによって説明されるものではなかった。しかしながら、黒人家族の両親において諸問題に対する過少報告が得られた結果に影響を及ぼした可能性が示唆された。</p> <p>結論： 本研究では白人家族向けの社会調査において、両親のアルコール消費について家族の飲酒歴を使用する手法について肯定的な結果が得られた。しかしながら、黒人家族において家族の飲酒歴を用いた検証では調査手法のさらなる改善が必要であることが示唆された。</p>		